

2016年4月から2018年2月までに当科において神経膠腫(グリオーマ)の手術治療を受けられた患者さまへ重要なお知らせ

当院で手術治療を受けられる際に説明しましたが、神経膠腫の診断、治療方針の決定には遺伝子診断が重要です。我々の施設では、「グリオーマにおける化学療法感受性の遺伝子指標の検索とそれに基づくテーラーメイド治療法の開発」という多施設共同研究に参画し、脳腫瘍の検体の遺伝子解析を行い結果をお伝えするとともに、得られた情報を保管し必要時には施設間で共同利用させていただいております。なお、情報の保管、利用に際しては個人情報情報は匿名化した状態となっております。

当施設では本研究に2011年から参加しています。当初の研究期間は2016年3月31日まででしたが、さらに研究を進めるため、2018年3月以降の期間延長を当院倫理委員会に申請し承認されております。しかし、2016年4月から2018年2月までの期間においては、研究期間外となっております。

この事案について、2018年1月25日の当院倫理委員会にて審議を行い、対象者の方に経緯を説明した上で、脳腫瘍の検体を使用させていただくこととなりました。現在、当方の外来通院中の方に関しては、外来にて経緯の説明を行います。また、それ以外の方に関しては、検体の利用について当方までお問い合わせ頂けましたら個別に対応させていただきます。

問い合わせ先：大阪市立大学医学部附属病院脳神経外科 研究責任者 宇田 武弘
E-mail : neurosurgery@med.osaka-cu.ac.jp